

2018年（平成30年）3月 14日 水曜日（先負）

日刊工業新聞

総合ガイド

ログ

ニュース

動画

特集・連載

マイページ

機械 ロボット ICT エレクトロニクス 自動車・輸送機 化学・金属・繊維 環境・エネルギー 医療・健康・食品 建設・住宅・生活
 商社・流通・サービス 政治・経済 金融・商況 地域経済 中小・ベンチャー 科学技術・大学 人物 オピニオン トピックス 新製品 その
 特集・広告 企業リリース 人事・機構改革 マイニュース マイクリップ 【特集】ポートショー 電子版オリジナル連載・特集

トップ トピックスニュース 記事詳細

[トピックス]

サンデンホールディングス

サンデン・リテールシステム

I o T

ふるさと納税

自販機

グローキアアップ

進むI o T利用（4 9）サンデン・リテールシステムーI o T自販機で「ふるさと納税」

ツイート

シェア 2

LINEで送る

(2018/3/8 05:00)



サンデンR Sとグローキアアップなどが共同開発したI o Tふるさと納税自販機

サンデンホールディングスの子会社で自動販売機事業などを展開するサンデン・リテールシステム（サンデンR S、東京都千代田区、大和章浩社長、0 3・5 2 0 9・3 2 3 4）は、I o T（モノのインターネット）を活用した「ふるさと納税自販機」を開発した。ふるさと納税の返礼品を選択して表示された金額を入れると、返礼品の生産者や配送者に情報が伝達。住所を事前登録しておくことで、自動的に自宅へ品が届く。今秋にも国内の一部地域で設置され、将来は2 0 2 0年東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせて普及を図る考えだ。

「I o Tふるさと納税自販機」は、グローキアアップ（東京都港区）などと連携して開発。グローキアアップが開発したシステム「ふるさと納税U N I O S S」を基幹に、自販機と自治体、生

産者などをつないでいる。

納税希望者は、クレジットカードなどI C（集積回路）が埋め込まれたカードを、自販機のリーダーにタッチして返礼品を選び、納税する。すると、U N I O S Sが自治体に納税情報を、商工会に返礼品の注文を、生産者に出荷依頼を自動で発送。数日後に、納税者に品が届く。

グローキアアップの鍵和田芳光社長は、自販機をつくったきっかけについて「ふるさと納税をする人が、これまではネットに明るい若い層のみに偏っていた。納税額も集まりにくかった。町に観光に来た人でも簡単に納税できる仕組みをつくれれば、あらゆる年齢層を取り込め、納税額も増えると感じた」と話す。

2 0 1 6年度のふるさと納税額は国民1人当たり約2 2 0 0円。設置を検討しているある自治体では、年間3 8 0万人の観光客を受け入れている。例えば、その自治体を訪れた年間観光客全員が2 2 0 0円のふるさと納税をするとしたら、総額は8 3億円を超える。

今後、道の駅や空港など観光客の集まる場所への自販機設置を進めていく。自販機自体にも改良を加え、サンデンR S担当者も「ふるさと納税のさらなる活性化を図っていきたい」とする。

（山田諒）

(2018/3/8 05:00)

ツイート

シェア 2

LINEで送る

マイクリップ登録する

紙面イメージで見る

記事を利用する

前へ

一覧を見る >

ようこそ、
jpabscmrnews@abeam.com
(ログイン中)

[ログアウト]

マイページ マイニュース マイ

電子版からのお知らせ

日刊工業新聞社からのお知らせ

最近あなたが読んだ記事

2018/03/08

住友倉庫、I o Tで港湾倉庫管理
2 0 %短縮



カレンダーから探す

2月							2018年03月 ▼
					1	2	
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

今日の紙面PDF



3月1
の紙
PDF